

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-24	小学校	社会	社会	3
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東書	社会 301	新しい社会 3		

## 1. 編修の基本方針

### 豊かな学びが未来を拓く

現代は、グローバル化と情報化が進展し、急速に社会が変化する中で、将来を予測することが難しくなっています。一方で、日本の社会は、人口減少、少子化、高齢化など、多くの課題を抱えています。こうした中で、社会について学び考え、社会とのかかわり方を身につけていくことを通して、未来のよりよい社会づくりに参画・貢献する国民・市民を育てていく社会科の役割は、ますます重要になっています。

本教科書は、教育基本法に示された教育の目標を達成し、社会科の目標である「公民としての資質・能力」の基礎を養うことを目指し、以下の3点を柱として編修に取り組みました。

#### 特色 ①

社会について  
「調べて、考えたく  
なる」教科書



- 「問題解決的な学習」を進めていくことができる教科書です。
- 「見方・考え方」を働かせて学習を進めることができます。

#### 特色 ②

「社会とかかわる」  
子供を育てる  
教科書



- 社会的な事柄に参画・提案する場面を充実させました。
- 社会に生きる人々の姿を随所に掲載しました。

#### 特色 ③

「主体的に、  
楽しく学ぶことが  
できる」教科書

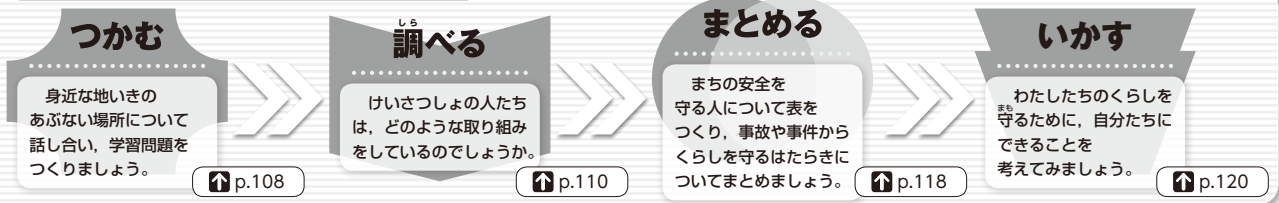


- 「見通し」をもって学習を進めることができます。
- 活用できる写真やイラストなどの資料を数多く掲載しました。

01. 「問題解決的な学習」を進めていくことができる教科書です。

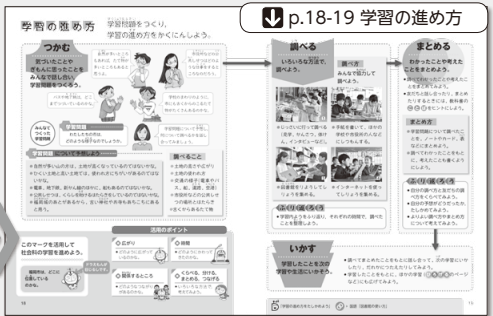
単元の「めあて」、小単元の「学習問題」、本時の「めあて」を教科書紙面に構造的に示しています。

1 小単元での本時の「めあて」と学習段階の例



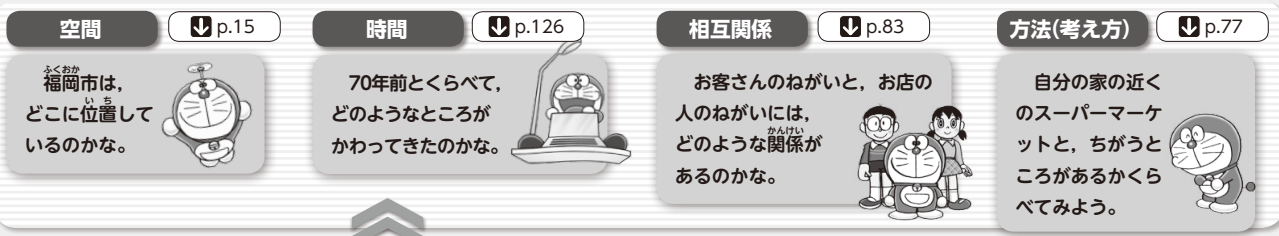
● 1 単位時間の内容を 1 見開きで示すことを原則とし、見開き左ページ側注欄には、本時の「めあて」とその時間の学習段階を明示しました。

● 各学年に、見開きで「学習の進め方」を設け、「つかむ」「しらべる」「まとめる」「いかす」という学習段階をたどりながら小単元の学習の進め方を示し、問題解決の流れがわかるようにしました。



02. 「見方・考え方」を働かせて学習を進めることができます。

見開きの適所に、ドラえもんが目じるしの「見方・考え方」の囲みを提示しました。



● 「空間」「時間」「相互関係」の三つの視点と、方法(考え方)で囲みを変え、どのような視点や方法を働かせればよいか明確にわかるようにしています。

03. 「主体的・対話的で深い学び」を進めていくことができます。

「問題解決的な学習」を充実させることが、子供の主体的な学びをつくることにつながります。

● 「つかむ」場面では、「学習問題」を導き出せるよう、掲載する資料(写真・イラスト・グラフ)を工夫しました。

● 「話し合い」の場면을重視し、イラストや写真を適宜掲載するなど、紙面を工夫しました。

● 「まとめる」場面では、学習したことを振り返り、最後に自分の考えを書く活動を位置づけています。



p.124-125 3 枚の写真を比べる



p.30 市の特色やよさを話し合う



p.118-119 表にまとめ、意見文を書く

特色②

「社会とかかわる」子供を育てる教科書

01. 社会的な事柄に参画・提案する場面(学習段階「いかす」)を充実させました。

「くらしを守る」の「いかす」

- 火災と事故の学習を振り返って自分たちにできることを考え、標語をつくる場面を掲載しました。



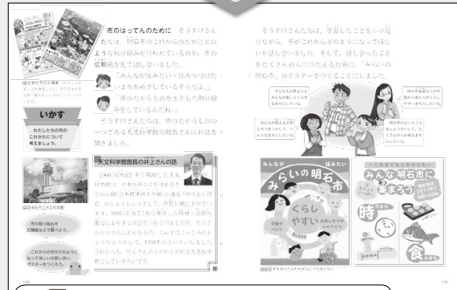
↑ p.120-121 「自分たちにもできること」

標語  
づくり

参画・提案

「市のうつりかわり」の「いかす」

- 市の発展に関心をもち、市の将来についてポスターをつくる場面を掲載しました。



↑ p.140-141 「市のはってんのために」

ポスター  
づくり

参画・提案

02. 社会に生きる人々の姿を随所に掲載しました。

第3学年では、  
21人が掲載  
されています。

- 様々な仕事に携わっている人々の姿を、「〇〇さんの話」として随所に掲載しました。

多様な人の生き方にふれ、共感的に学ぶことで、自分のこれからの生き方についても考えることができます。

**あまおう農家の浜地さんの話**

バックづめたあまおうは、市の中央卸売市場に送ります。その後、新せんうちに、各地のスーパーマーケットなどにトラックで送られます。福岡市だけでなく、ほかの県や市、海外へも送られます。沖縄県であまおうのせんでんをしたこともあるんですよ。これからも、おいしいあまおうを大切に育てたいですし、たくさんの人に食べてほしいですね。

↑ p.49

**交番の小西さんの話**

安全な生活を守るためには、みなさんの協力が欠かせません。例えば、自転に乗るときには、交通ルールを守ることが大切です。交通事故をへらすためには、道路交番などの法やきまりを守ることが大切です。けいさつは、地いきの人と協力しながら、事故をへらすために努力しています。安全な生活を守るためには、一人ひとりの心がけが大切です。

↑ p.111

特色③

「主体的に、楽しく学ぶことができる」教科書

01. 「見通し」をもって学習を進めることができます。

- 「学習問題」をつくった後の段階に、「学習問題について予想しよう」「学習計画を立てよう」という場面を適宜提示し、見通しをもって学習を進められるようにしました。

学習問題をつくる → 学習問題について予想 → 学習計画を立てる

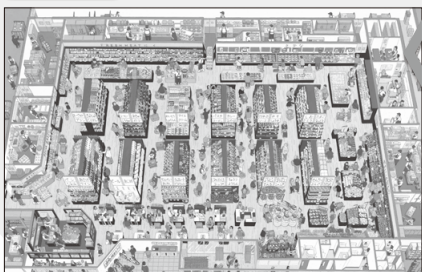
見通しをもった学習



- 第3学年の冒頭に、「生活科で学んだこと」と、「3年生で学ぶこと」を掲載し、既習事項を振り返り、見通しをもって第3学年の社会科学習に入れるようにしています。

← p.96-97 学習問題をつくり、学習計画を立てる

02. 活用できる写真やイラストなどの資料を数多く掲載しました。

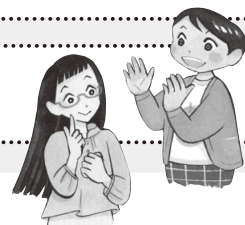


- 見開きを使った迫力のある新規イラストを3か所に掲載しました。

- 資料には、見開きごとに通し番号を付けています。

- 世界で親しまれているドラえもんや、親しみやすい児童キャラクターが、学習をナビゲートします。

← p.73-74



## 2. 対照表

図書の構成・内容	とくに意を用いた点や特色	該当箇所
生活科で学んだこと／3年生で学ぶこと／地図帳を使おう	・生活科の既習事項を振り返り、第3学年の学習内容を提示することで、これから始まる社会科学習に意欲をもって取り組んでいけるようにしました。(第1号)	p.2-5
1 わたしのまち みんなのまち ・学校のまわり 1 市の様子	・市の地形や土地利用など、市の様子を学習するなかで、自然環境の保全が地域社会の発展につながることに気づけるようにしました。(第4号)	p.14-33
	・自分たちの住む市内に古くから残る建造物を数多く取り上げることで、伝統と文化を尊重し、地域への愛着を深めることができるようにしました。(第5号)	p.28-29
2 はたらく人とわたしたちの暮らし 選択 1 農家の仕事 1 工場の仕事 2 店ではたらく人	・農家で働く人、工場で働く人、スーパーマーケットで働く人など、実際に取材した「〇〇さんの話」を多数掲載し、勤労及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことができるようにしました。(第2号)	p.36-91
	・産地調べの学習では、外国からくる品物について取り上げるなかで国旗について扱い、他国を尊重する態度を養うことができるようにしました。(第3号)	p.80-81
	・スーパーのリサイクルコーナーやマイバッグなど、資源の有効利用や再利用の大切さを考え、実践する態度や意欲をはぐくむ教材を取り上げました。(第4号)	p.84-85
3 暮らしを守る 1 火事から暮らしを守る 2 事故や事件から暮らしを守る	・消防署や警察署で働く人たちが、地域の人々と協力して、地域の安全を守っていることを学習することを通して、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずることについて気づくことができるようにしました。(第3号)	p.92-119
	・地域の安全を守ることにに関して、自分たちにできることを話し合い、標語をつくることで、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養うことができるようにしました。(第3号)	p.120-121
4 市のうつりかわり 1 市の様子と人々の暮らしのうつりかわり	・単元の最後に、自分たちの市の将来について考える「いかす」場面を設定することで、社会に参画する態度を養ったり、地域への愛着を深めたりすることができるようにしました。(第1号、第5号)	p.140-141
3年生で学んだこと	・学年の最後に「3年生で学んだこと」を見開きで掲載し、一人ひとりが第3学年での学びの軌跡を振り返ることができるようにしました。(第2号)	p.144-145

## 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

### 01 全ての児童が使いやすい紙面への配慮

- ① **特別支援教育への配慮** ・全ての児童にとって使いやすくわかりやすいユニバーサルデザインを追求し、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など、様々な面で配慮しています。

#### すっきりとして見やすく、読みやすいデザイン

- 本文と資料をはっきり区別できるようにレイアウト。
- 児童に注目させたい本時の「めあて」や「学習問題」が目立つよう工夫。

#### カラーバリアフリーに配慮

- 図表などは、色調の違いだけでなく、模様や形などでも判別できるように配慮。
- 紙面の検討に際しては、カラーバリアフリーに取り組むボランティア団体の協力を得ました。

#### ユニバーサルデザインフォントの使用

- 教科書の一部にユニバーサルデザインフォント(UDフォント)を使用し、可読性を高めています。

- ② **人権上の配慮** ・児童キャラクター(男性3,女性3)やイラストに描かれる人物、「〇〇さんの話」などで、性別による偏りがないようにしました。

### ③ 造本の工夫 (判型, 書体, 用紙等)

#### 判型

- 判型は資料性、視覚的効果が高い幅広の判型を使用。
- ランドセルや机、道具箱への収納にも配慮。

#### 書体


- 教科書本文は、書き文字に近い教科書体を使用。

#### 用紙・印刷

- 用紙は、軽さや丈夫さと、挿絵や写真の表現力とを兼ね備えた再生紙を使用。
- 鮮明な挿絵、写真等の印刷で、学習内容への関心を高め、意欲を喚起するとともに、資料の確実な読み取りが可能。

## 02 今日的な課題への取り組み

### ① 「カリキュラム・マネジメント」への取り組み

- ・「教科関連マーク」  
 (教科名) を新設し、関連する他教科の学習内容を示すようにしました。

- 例
- ・国語 「図書館の使い方」(p.19)
  - ・算数 「ぼうグラフの読み取り方」(p.39)  
「数の位と表し方」(p.39)
  - ・外国語 「世界のさまざまな国と国旗」(p.81)

 国語「図書館の使い方」



- ・教科書の随所に掲載している「○○さんの話」は、地域の人材活用を念頭に置いて構成しています。

### ② 国旗の取り扱い

- ・「品物はどこから」の絵地図に国旗を示し、用語解説で国旗のもつ意義について説明しています。 (p.81)

### ③ 道徳教育との関連

- ・社会科の教科特性に応じて道徳性を養うことができるよう、人間尊重や公共の精神、生命や自然への畏敬の念をはぐくむ教材を適所に取り上げました。(p.104-105)

### ④ 防災、安全教育への対応

- ・「くらしを守る」単元で火災と事故や事件について扱う中で、「生活安全」「交通安全」について理解できるようにしました。

### ⑤ 国際理解・グローバル教育への取り組み

- ・農家でつくられているいちごが海外でも売られていること、工場で作られているお菓子の原料が外国からきていること、スーパーマーケットには外国から運ばれてきている品物があることを取り上げ、外国と自分たちの生活とのつながりを考えることができるようにしました。(p.49) (p.59) (p.80-81)

### ⑦ 教員支援

- ・教師用指導書は、「指導編」では「板書例」「発問例」を載せ、「評価」に関する内容も充実しています。また、「研究編」には小単元ごとの「知識の構造図」を載せ、授業に際して活用できるようにしています。
- ・教師用指導書「研究編」には、「複式年間指導計画」を掲載しています。

### ⑥ 教育のICT化への対応

- ・「D (デジタル) マーク」を示している箇所には、社会科学習への興味・関心を高めることができるコンテンツを用意しました。目次ページに掲載したURLか2次元コードからアクセスすることができます。
- ・制度化された学習者用デジタル教科書と、教科書に完全準拠した指導者用デジタル教科書(教材)を発行します。指導者用デジタル教科書は、動画資料、アニメーション、自由に教材を作成する機能などを搭載しています。
- ・ICT活用の例として、「電子黒板を使って、発表しよう」を特設ページに掲載しました。(p.147)

## 03 そのほかの取り組み

### ① 地図帳の活用

- ・地図帳が第3学年から使用されることを受け、1ページを使って「地図帳を使おう」(p.5)を掲載したほか、地図帳の索引の使い方の「まなび方コーナー」や、地図帳を確認する作業指示を設けました。

### ② 家庭学習への対応

- ・応用、発展の位置づけの「ひろげる」は、家庭学習で活用できます。
- ・「D (デジタル) マーク」で示した箇所のコンテンツは、家庭学習で活用することができます。

### ③ 生活科との連携

- ・「生活科で学んだこと」を見開きで掲載し、既習事項を振り返ることができるようにしました。(p.2-3)
- ・導入の「学校のまわり」は、生活科のまち探検の成果を活用するようにしました。(p.8-13)

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時間数)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-24	小学校	社会	社会	3
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東書	社会 301	新しい社会 3		

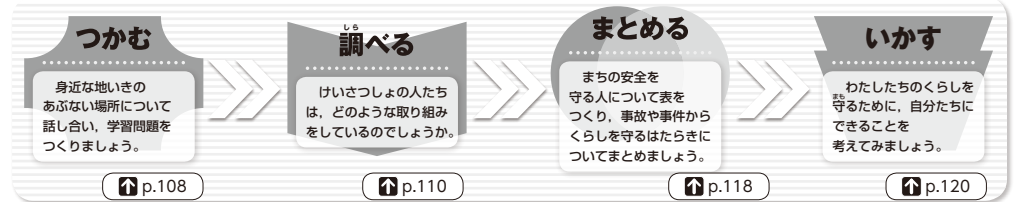
## 1. 編修上, とくに意を用いた点や特色



**01** 「問題解決的な学習」を進めていくことができる教科書です。  
 新学習指導要領の第3学年の目標で「学習の問題を追究・解決する活動」と明記され、問題解決的な学習がいっそう重視されています。

● 教科書に沿った学習で、「問題解決的な学習」の展開が可能

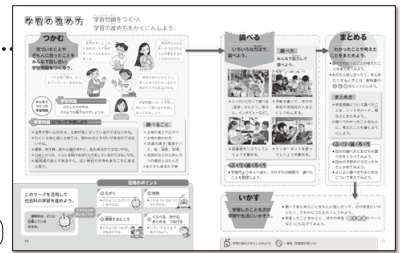
「学習問題」や見開きごとの本時の「めあて」をはっきりと示しており、教科書に沿って学習することで、問題解決的な学習を展開できるようにしています。



● 学習段階ごとに、具体的な学習の進め方を提示

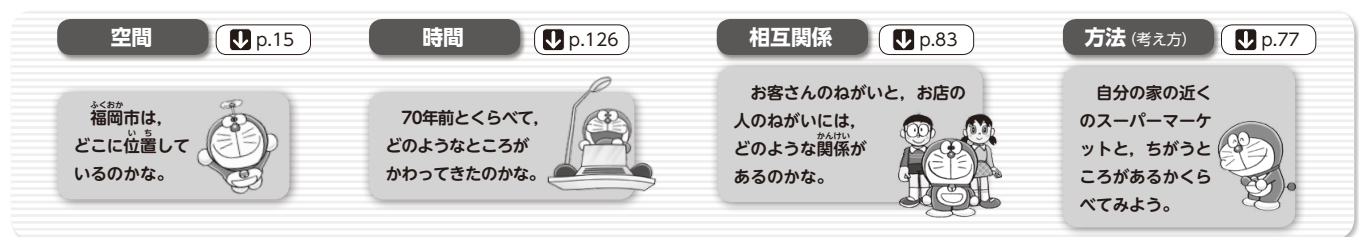
「学習の進め方」では、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」のそれぞれの学習段階での具体的な学習の進め方を詳しく説明しています。

p.18-19 学習の進め方

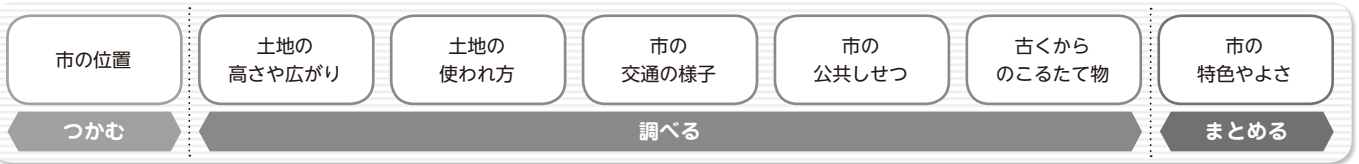


**02** 「見方・考え方」を働かせて学習を進めることができます。  
 新学習指導要領の第3学年の目標で、「社会的事象の見方・考え方を働かせ」ることが明記されました。  
 教科書では、見開きの適所に、ドラえもんが目じるしの「見方・考え方」の囲みを提示しました。「空間」「時間」「相互関係」の三つの視点と、考え方（「方法」）の合わせて4種類の囲みを使い分けています。

● 一目でわかる「見方・考え方」の囲み



**03** 学習を進めやすい紙面展開  
 新学習指導要領では、「着目」として具体的に調べる内容が明示されました。  
 教科書では「着目」の文言をふまえて、学習を進めやすい紙面展開にしています。



「市の様子」の小単元の紙面展開 (調べる: 「土地の高さや広がり」～「古くからのこるたて物」)

「主体的・対話的で深い学び」を進めていくことができる教科書です。

新学習指導要領「指導計画の作成と内容の取扱い」で、「主体的・対話的で深い学びの実現」を図ることが明記されたことをふまえ、「問題解決的な学習」の充実を図るなど、教科書の改善を図りました。

● 資料を読み取り、考える

「つかむ」場面では、「学習問題」を児童が導き出せるよう、掲載する資料を工夫しました。



↑ p.124-125 3枚の写真を比べる

● 対話的な学び

「話し合い」の場面や社会で働く人から話を聞く場面を重視し、イラストや写真を適宜掲載しました。



↑ p.30 市の特色やよさを話し合う

● 学習を振り返り、考える

「まとめる」場面では、学習したことを振り返り、最後に自分の考えを書く活動を位置づけています。



↑ p.118-119 表にまとめ、意見文を書く

特色②

「社会と  
かかわる」  
子供を育てる  
教科書

既習事項を振り返り、話し合い活動を行った上で発信することで、地域社会の一員としての自覚をもてるようにしています。

01 社会的な事柄に参画・提案する場面  
(学習段階「いかす」)を充実させました。

新学習指導要領では、「地域の安全を守る動き」は「自分たちができることを考えたり」「選択・判断したりできるように」配慮することとされました。

●自分たちができることを考え、地域社会の一員としての自覚をはぐくむ

「くらしを守る」の「いかす」

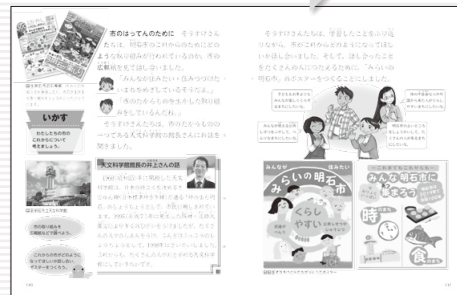
火災と事故の学習を振り返って自分たちができることを考え、標語をつくる場面を掲載しました。



↑ p.120-121 「自分たちにもできること」

「市のうつりかわり」の「いかす」

市の発展に関心をもち、市の将来についてポスターをつくる場面を掲載しました。



↑ p.140-141 「市のはってんのために」

02 社会に生きる人々の姿に学ぶ。

● 多様な人の生き方を、インタビューをもとにした生の声で学ぶ

多様な人の生き方にふれ、共感的に学ぶことで、自分のこれからの生き方についても考えることができます。

様々な仕事に携わっている人々の姿を、「〇〇さんの話」として随所に掲載しました。

第3学年では、21人が掲載されています。

あまおう農家の浜地さんの話

バックづめたあまおうは、市の中央卸売市場に送ります。その後、新せんうちに、各地のスーパーマーケットなどにトラックで送られます。福岡市だけでなく、ほかの県や市、海外へも送られます。沖縄県であまおうのせんでんをしたこともあるんですよ。これからも、おいしいあまおうを大切に育てたいですし、たくさんの人に食べてほしいですね。

↑ p.49

交番の小西さんの話

安全な生活を守るためには、みなさんの協力が欠かせません。例えば、自転車に乗るときには、交通ルールを守ることがひつようです。交通事故をへらすためには、道路交通法などの法やまじりを守ることが大切です。けいさつは、地いきの人と協力しながら、事故をへらすために努力しています。安全な生活を守るためには、一人ひとりの心がけが大切です。

↑ p.111

天文科学館館長の井上さんの話

1960(昭和35)年に開館した天文科学館は、日本の時こくを決めるきじゅん線(日本標準時子午線)が通る「時のまち明石」のしょうちようとして、市民に親しまれています。1995(平成7)年に発生した阪神・淡路大震災により多くのひがいをうけましたが、たくさんの方々のしえんをうけ、こんどはふつこうのしょうちようとして、1998年にさいかいしました。これからも、たくさんの方がおとされる天文科学館にしていきたいです。

↑ p.140

特色 ③

「主体的に、  
楽しく学ぶ  
ことができる」  
教科書

「見通し」と既習事項の「振り返り」を重視した教科書の流れ

p.2-3  
生活科で学んだこと  
「まちのすてき」

p.4  
3年生で学ぶこと  
「わたしたちのくらすまち」

p.6-143  
第1～第4単元  
(予想と学習計画を立てる場面を重視)

p.144-145  
「3年生で学んだこと」

p.146  
「どのように学んだか  
ふり返ろう」

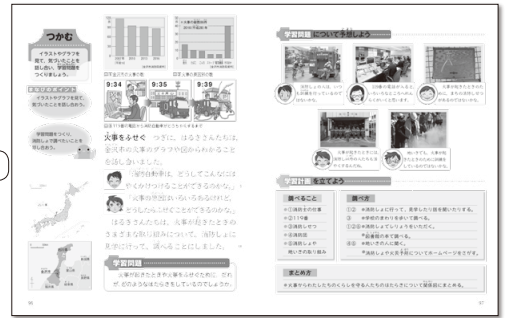
01 見通しをもって、  
学習を進めることができます。

「学習問題」をつかった後に、  
「学習問題について予想しよう」  
「学習計画を立てよう」という場面を適宜提示し、  
見通しをもって学習を進められるようにしました。

➡ p.96-97 学習問題をつくり、学習計画を立てる

冒頭に、「生活科で学んだこと」と「3年生で学ぶこと」、最後に1年間を振り返る「3年生で学んだこと」を掲載しました。

● 予想と学習計画で、問題解決の見通しをもつ



02 「まとめる」場面では、多様な表現活動に取り組むことができます。

● 「まとめる」活動を通して、思考力・判断力・表現力を育てる

学習問題を解決する場面では、かべ新聞にまとめる、関係図にまとめる、年表にまとめる、表にまとめ話し合うなどの表現活動を提示し、習得した知識を定着させるとともに、思考力・判断力・表現力を育てます。



↑ p.87 かべ新聞にまとめる



↑ p.107 関係図にまとめる

03 学習場面に応じた学び方を「まなび方コーナー」で示しています。

まなび方コーナー

見る・聞く・ふれる		新しい 表す・つたえる	
見学のしかた	43	地図を使ってまとめる	32
見学の計画を立てる	55	せんでんシールをつくる	50
しつものしかた	68	話し合いのしかた	64
予想する	71	かべ新聞にまとめる	86
調べる手がかりをさがす	80	ていあん文を書く	90
インタビューのしかた	133	かんけい図にまとめる	107
		短い文で表現する	121
		年表をつくる	137
読み取る			
地図を読み取る	10		
さくいんを読み取る	17		
ぼうグラフを読み取る	39		
図を読み取る	101		
二つのグラフを読み取る	109		

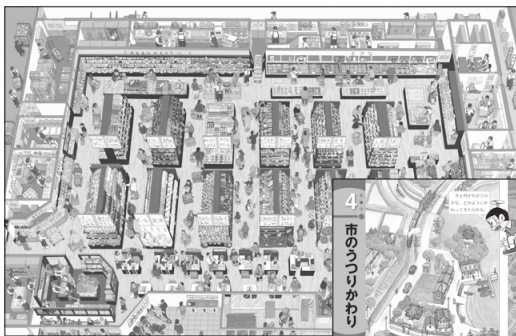
3年生では、  
19か所の  
「まなび方コーナー」を  
掲載しました。

04 活用できる写真やイラストなどの資料を数多く掲載しました。

資料には、見開きごとに通し番号を付け、活用しやすくしています。

↑ 1 交番で話を聞く

↑ 2 けいさつしょで白パイについて話を聞く



↑ p.73-74  
スーパーマーケットの様子

➡ p.122-123  
市のうつけりかわり（オリエンテーション）

見開きを使った迫力のある新規イラストを3か所に掲載しました。

親しみやすい児童キャラクターが、ドラえもんとともに学習をナビゲートします。





## 観点別特色の一覧

<p><b>教育基本法の遵守</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育基本法第2条に示された教育の目標を、小学校社会科の学習を通して達成できるよう教科書紙面が構成されています。(全体)</li> <li>・第2号については、実際に取材した「〇〇さんの話」で様々な職業や社会的活動の意義や価値、携わる人の誇りや願いについて記述し、共感的な理解を促すようにしました。</li> <li>・第3号については、「いかす」の学習段階で自分たちにできることを話し合っ、他者に発信する活動などを位置づけ、社会参画の基礎を培うことができるようにしました。</li> </ul>
<p><b>学習指導要領の教科の目標との関連</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学習指導要領(社会科)に示された目標に則り、学習指導要領の内容をもれなく扱い、単元を適切に構成・配列しました。(全体)</li> <li>・「見方・考え方」の囲みを新たに設け、「見方・考え方を働かせて」学習が進められるようにしました。(全体)</li> <li>・小單元ごとに学習問題を設けて紙面を展開しており、「課題を追究したり解決したりする活動」ができるようにしました。(全体)</li> <li>・様々な仕事や活動で社会に参画する人の思いや願いを囲み文「〇〇さんの話」で提示して共感的に理解させることにより、将来にわたってよりよい社会の形成に参画・貢献する資質や能力の基礎を育成するようにしました。(全体)</li> </ul>
<p><b>社会的な見方・考え方</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見開きの適所に、ドラえもんが目じるしの「見方・考え方」の囲みを提示しました。「時間」「空間」「相互関係」の三つの視点と、方法(「考え方」)で囲みを変え、どのような視点や方法を働かせればよいか明確にわかるようにしました。(p.18下, p.15, p.77, p.83, p.126) など</li> <li>・巻末に特設ページ(「どのように学んだか振り返ろう」)を設け、どのような方法(「考え方」)を用いて学習したかを振り返ることができるようにしました。(p.146)</li> </ul>
<p><b>思考力・判断力・表現力</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「まとめる」場面では、文章でまとめる、発表する、話し合うなどの言語活動を重視し、習得した知識を定着させ、思考力・判断力・表現力を育成できるようにしました。</li> <li>・「いかす」場面では、自分にできることを考えて標語をつくったり、市の将来について考えてポスターをつくったりする活動を提示しました。</li> </ul>
<p><b>基礎的・基本的な知識、技能の定着への配慮</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習上重要なキーワードを「ことば」として明示し、学習内容の確実な習得に役立てるようにしました。(p.24「交通」)(p.81「産地」)(p.103「消防しせつ」) など</li> <li>・巻末に、学習事項の確認に用いることができる「さくいん」を設けました。(p.148)</li> <li>・随所に「まなび方コーナー」を設け、学習技能を系統的に習得できるようにしました。(p.39「ぼうグラフを読み取る」)(p.55「見学の計画を立てる」)(p.86「かべ新聞にまとめる」) など</li> </ul>
<p><b>資質・能力への対応</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「資質・能力」の育成すべき三つの柱をふまえて、教科書紙面を構成しました。</li> <li>・(「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力等」) ⇒ 上掲</li> <li>・(「学びに向かう力, 人間性等」)「市の様子」の小單元では、古くから残る建物など、市の良さに気づき、地域社会に対する誇りと愛情をもつことができるようにしました。また、「市のうつりかわり」の「いかす」場面では、自分たちの市の将来・発展について考えることで、地域社会の一員としての自覚をもつことができるようにしました。</li> </ul>
<p><b>学習方法・授業展開への配慮</b> (アクティブ・ラーニングなど)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学年では、教科書に示した典型的な学習の流れを「まなびのポイント」で明示し、地域の実態を生かした学習指導に応用・転移できるようにしました。(p.38) など</li> <li>・話し合いの場を重視し、適所でイラストで示したほか、まとめる場面では学習してきたことを振り返ったうえで学習問題を解決する過程をわかりやすく示し、深い学びにつながるようにしました。(p.30) など</li> <li>・どのような方法(「考え方」)を用いて学習したかを振り返ったり、別の学びの進め方(「電子黒板を使って、発表しよう」)に取り組んだりすることができるよう、特設ページを設けました。(p.146-147)</li> </ul>
<p><b>問題解決的な学習の充実</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の「めあて」、小単元の「学習問題」、本時の「めあて」を構造的に紙面に明示するとともに、見開き側注欄の本時の「めあて」に学習段階(つかむ, 調べる, まとめる, いかす)を目立つ形で示し、問題解決的な学習の展開をうながしました。</li> <li>例(第2單元 1「農家の仕事」): (p.37 単元の「めあて」)(p.38「つかむ」)(p.42「調べる」)(p.50「まとめる」)(p.90 単元の「いかす」)</li> </ul>
<p><b>地図帳の活用</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図帳が第3学年から使用されることを受け、地図帳の活用をうながすページ(p.5「地図帳を使おう」)や、作業指示の箇所(p.81「品物の産地調べ」)を設けました。</li> <li>・「まなび方コーナー」に地図帳の索引の引き方を設けました。(p.17「さくいんを読み取る」)</li> </ul>

今日の課題に関する内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年の学習内容に応じて、今日の課題について積極的に取り上げるようにしました。 ⇒防災…(p.102-103「ひなん場所」)、法…(p.111「法やきまり」)、環境…(p.84「リサイクル、レジぶくろカード」)、キャリア…(p.36-91「はたらく人とわたしたちの暮らし」) など。</li> </ul>
他教科との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>他教科の学習内容と関連する箇所は、「教科関連マーク」と学習内容をページの欄外に示し、関連を図ることができるようにしました。 p.53 算数「ぼうグラフの読み取り方」 p.81 外国語「世界のさまざまな国と国旗」 など</li> </ul>
人権への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権にかかわる社会の働きや人々の取り組みを取り上げた (p.85) ほか、大型イラスト中の点字ブロックの扱いなど、基本的人権を尊重する知識と態度が身につくようにしました。</li> <li>キャラクターやイラストに描かれる人物などが、性別による偏りがないようにしました。</li> </ul>
印刷・造本の工夫 (親しみやすさ、使いやすさなど)	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料性、視覚的効果が高く、かつランドセルや机、道具箱への収納にも十分配慮した幅広の判型を用い、見開きの情報量を充実させるとともに、見やすく印象的で、資料提示効果の高い紙面構成に努めました。</li> <li>軽さや丈夫さと、挿絵や写真の表現力とを兼ね備えた再生紙を使用し、挿絵、写真等の印刷は鮮明で、学習内容への関心を高め、意欲を喚起するとともに、資料の確実な読み取りができるようにしました。</li> </ul>
印刷・製本の配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全性の高い植物油インクで印刷し、長期の使用や持ち運びに耐えるよう、表紙には汚れにくく、防水効果、強度の高い加工 (PP 加工) を施すとともに、堅牢な針金綴じを用いて製本しました。</li> </ul>
書体・大きさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆写の文字に近く読みやすい専用教科書体と、視覚にうったえるゴシック体の文字をバランスよく使い分けるとともに、児童の発達段階に配慮した適切な大きさの文字を用いました。また、読みやすさを追求し、適所にユニバーサルデザインフォント (UD フォント) を用いました。</li> </ul>
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語科との関連や児童の発達に十分配慮し、当該学年以上の配当漢字にはふりがなを付しました。また、一文を短く、全体の文章量が過多にならないよう簡潔な文章表現に努める一方、必要な場面では、学習内容を確実に理解させるための丁寧な文章表現を用いました。</li> </ul>
特別支援教育にかかわる適切な配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が障がいその他の特性の有無にかかわらず教科書を学習できるよう、ユニバーサルデザインの考えに基づいて、紙面を作成しています。</li> <li>カラーバリアフリーに取り組むボランティア団体の協力を得て、配色や色にかかわる表現を点検するとともに、だれも見やすく、わかりやすい落ち着いたレイアウトに努めました。図表の配色に当たっては、必要に応じて形や模様により識別できるようにしました。</li> </ul>

## 2. 対照表

配当時間数計：70

単元名・小単元名	学習指導要領の内容		該当箇所	配当時数
1 わたしのまち みんなのまち	(1) 身近な地域や市区町村の様子		p.6-35	16
○ 学校のまわり	「身近な地域の様子」	(1) ア - (ア) (イ), イ - (ア)	p.8-13	3
1 市の様子	「市区町村の様子」	(1) ア - (ア) (イ), イ - (ア)	p.14-33	12
2 はたらく人とわたしたちの暮らし	(2) 地域に見られる生産や販売の仕事		p.36-91	28
選択 1 農家の仕事	「生産の仕事」	(2) ア - (ア) (ウ), イ - (ア)	p.38-51	(11)
1 工場の仕事	「生産の仕事」	(2) ア - (ア) (ウ), イ - (ア)	p.52-65	(11)
2 店ではたらく人	「販売の仕事」	(2) ア - (イ) (ウ), イ - (イ)	p.66-91	16
3 暮らしを守る	(3) 地域の安全を守る働き		p.92-121	15
1 火事から暮らしを守る	「火災」	(3) ア - (ア) (イ), イ - (ア)	p.94-107	7
2 事故や事件から暮らしを守る	「事故」	(3) ア - (ア) (イ), イ - (ア)	p.108-121	7
4 市のうつりかわり	(4) 市の様子の移り変わり		p.122-143	11
1 市の様子と人々の暮らしのうつりかわり	「市や人々の生活の様子」	(4) ア - (ア) (イ), イ - (ア)	p.124-141	10